

タウンミーティング 会議録

日 時：平成21年11月27日（金） 19:00～20:34

場 所：石田交流プラザ（石田）

テーマ： 1．地域医療体制について
 2．総合交通ネットワークの整備について
 3．新庁舎建設について

参加者：47名

【事務局】

ご苦労さまです。

ご案内の時刻になりましたので、只今から平成21年度黒部市タウンミーティングを開催いたします。

今年も昨年同様に市内の4つの中学校校下ごとに開催することとしておりまして、本日は2日目であります。今回のテーマにつきましては、一つ目が、「地域医療体制について」、二つ目が、「総合交通ネットワークの整備について」、三つ目が、「新庁舎建設について」の以上、3つのテーマです。

最初に市長からこのテーマについて、約20分ご説明申し上げます。その後、この3つのテーマについて、会場の皆様方から、順次、ご意見、ご提言をお受けいたします。

なお、終了時間は、8時30分ごろを目処として進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

また、先ほど受付でアンケート用紙をお配りいたしました。この場でご発言できなかったご来場の皆様からも自由にご意見をいただきたいと思いますので、日ごろから感じておられることをご記入いただきまして、お帰りの際、受付で回収させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

お寄せいただいた意見につきましては、今後、市政運営の参考にさせていただく予定としております。

それでは、堀内市長から、ごあいさつと、テーマに関して基本的な考え方を述べさせていただきます。

【市長】

みなさん、こんばんは。

今日は石田交流プラザでタウンミーティングを開催いたしましたところ、皆様方には、お仕事を終えられて大変お疲れのところ、また家庭だんらんの大変大事な時間にこのようにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

また、開催にあたりまして、自治振興会、あるいは町内会の役員の方々には大変お世話をいただきましたことに対しまして、心から感謝申し上げたいと思います。

大変限られた時間でございますし、テーマも3つございますので、早速説明に入らせていただきたいと思います。

黒部市に合併して4年目に入っております。また、新しい黒部市の第1次総合振興計

画が昨年4月からスタートし、1年半ほどたったところでございます。この間、沢山ある課題、新幹線関連事業、或いは新庁舎の問題、或いは道路整備、学校教育施設の充実など沢山の課題があるわけでありましたが、それらの実現に向けて今鋭意取り組んでいるところでございます。ここまでは、概ね順調に推移することができたのではないかと考えております。

ただ、一方では今年9月に新政権が発足し、皆さん方もテレビ、新聞等で毎日のようにご覧いただいていると思いますが、国のいろんな政策、方針が見直しされようとしておりますので、それらのことが我々の重点プロジェクトにどのように影響してくるかということについてはまだ不透明なところが沢山あります。そういう点も注視しながら、黒部市の重要な課題の実現に向けて、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、早速3つのテーマについての説明に入りたいと思います。

詳細については、「課題提起」をご覧ください。

【事務局】

それでは、ただいまから本日のテーマに関して、会場の皆様からのご意見やご提言をお受けいたします。係の者がマイクをお渡ししますので、地区名、お名前につき、ご意見を述べていただきます。

もう一つお願いがあります。このタウンミーティングでは、限られた時間の中で、できるだけたくさんの方々からご意見をいただきたいと考えておりますので、ご発言はなるべく簡潔に、お一人3分以内でということをお願いいたします。

それでは、あらかじめご発言を申し込まれました堀切のAさんからお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【Aさん】

私は新庁舎のことについてちょっと意見を出した者ですけど、3点のうちのコラーレ周辺で、コラーレの北側、用地取得もあそこは広々とした農地もあるし、黒部消防署も移転せんなんて言われたときに、専門家に図面を見せてもらったときに、断層もなくて地盤がしっかりしていると。やっぱり高潮やとか洪水やとか地すべりやとかいろいろあれど、富山県って地震があまりないっていうようなことを感じたけど、絶対ないということはない。100年前に立山のほうの常願時のあそこで一度あったり、新潟だとか福井だとかではあって、富山県はただ偶然無いだけで、絶対200年も300年も富山県に地震がない、黒部に地震がないということはいえん。黒部に不幸にして地震が起きた場合、いろんな災害のうち、特に地震が起きた場合に、市役所が災害対策本部となるし、実際に救助活動をするのもその横に消防署も持ってくるから、一番いいのではないかなと思っている。そして、先ほど、新幹線の駅のそばと言われたけど、それはそこに付けなくても、ちょっと歩けば、東三日市駅やあこらから行けば、あそこに地鉄の乗り継ぎの新幹線の駅もできるから、黒部市からそこへ陳情が何かに行く場合でも、電車でも車でも行ける。何も新黒部駅のところにつくらんならんということはないと私は思いますけど。

それに、もう一つ、三日市小学校の跡地、あそこは駐車場をつくったらもう満杯になるし、土地が少ないし、もう一つは山の前沢のほうやら宮野山で見晴らしがよいのどうのっ

という話やけど、市役所は別に展望台じゃないからね。でも、富山市役所の展望台って言うておるでしょう。みんなの意見で、大勢の意見で、市役所をつくったときに、高い展望台もつくってくれて、そういう意見がたくさんあれば設計の段階で市役所と同時に、高い展望台をつくっても、私はそんなもの要らんと思うけど、ぜひ展望台をつくってもらいたいという人がおられれば、富山市役所に展望台があるでしょう。前沢の山の高から見ても、つくこともできるので。私の意見です。

以上ですけども、ありがとうございます。

【市長】

ありがとうございます。

新庁舎の建設につきましては、先ほど来お話していますように、大変たくさんのご意見をいただいております。皆さん方の意見を参考にしながら決定をさせていただきたいと思っております。今、Aさんのほうからお話があったことで、何点かちょっとご説明を申し上げたいと思っております。

まず1点は、活断層、魚津断層が現8号線に沿って走っているということが、数年前にはっきりわかりました。そのことに対してどういう対策をとるのかということで、消防庁舎の建設の検討をしているときに、専門家の方からのご意見を伺ったんですが、活断層からおおよそ500メートル程度離ればいいたろうという専門家のご意見をいただきました。それらを受けて、消防庁舎につきましてはコーレ周辺がいいという判断をし、今用地取得に向けて協議をさせていただいております。もうしばらくで具体的な場所の発表ができるというような段階に入っております。それが活断層に対する対応ということでありま

す。それから、もう一点言われた駐車場のことであります。駐車場についてはどう考えるかということですが、現在黒部市に公用車が約40台ございます。それから、新庁舎を建設する上で今基本的に考えているのは、何人の職員がそこで働くのかということなんですが、新庁舎を建設した後は、そこで働く一般職の人数は245人前後を想定しています。245人がそこで働くということで、そこから面積を割り出しておりますし、また駐車場においても、職員用駐車場が約200台、それから来庁者の市民の皆さん方などの駐車場の約210台、合わせて約450台ほどの駐車スペースが必要ではないかというふうには想定しております。ただ、それをどういうふうに確保するかということについては、いろいろな考え方もございますので、新たにそれだけのものをつくるという意味ではございません。そういうような駐車台数の面積が必要かなというふうに考えておるところであります。今ほどお聞かせいただいたAさんのご意見なども参考にしながら、来年3月までには総合的に判断をしたいというふうに考えております。

ありがとうございました。

【Aさん】

だから、活断層があるところに市役所を建てたりすると、市役所というものは、特に地震の場合、地震対策本部になるからね。その地震対策本部が活断層のところであって、ペしゃんこになったりしたら、これはしゃれにもならんしね。やっぱり、市役所も耐震装置にせんらんけど、前にもタウンミーティングで出た、消防署も活断層があるので、活断

層がないコラーレのところに持ってこんならんと言われたから、市役所と一緒になら……。

【市長】

だから、活断層から必要な距離を離れたということでもあります。

【Aさん】

駐車場を取るにしたって、コラーレの北側、十分な広い農地だから、どれだけでも駐車場でも市役所は、土地のことは心配せずに、あるから。

【市長】

そのとおりでありますので。ご意見はしっかり伺っておきます。ありがとうございました。

【事務局】

以上で、事前にご意見の申し込みをされた方のご発言は終わりましたので、次に、本日お集まりの会場の皆様から、テーマに関してのご発言をお受けいたします。地区名、お名前に続いて、お一人3分以内でご意見を述べていただきたいと思います。

【Bさん】

新町のBですが、いろいろ、市の庁舎の周りを歩いてみたら、シャッターの閉まっている家がたくさんありますね、古い家が。今、その例えば庁舎が動いた場合に、あそこはゴースタウンになるんじゃないかならうかと。今3地区でいろいろ審議されておりますけども、よく考えてみたら、今、大黒町のほうが意外に整備されまして、道路を広げて。逆に言ってみれば、シャッターのおりた家とか、もう営業も何もしていない古い家がたくさんあります。それを、あれをばさっと動かして、あそこの上にどーんと乗せたらどうかと、ちらっと思ったんですが、もうすでに遅しですね。ということは、今の市役所の周りの店というのは全部シャッターがしまってしまうなど。黒部市の真ん中の町がシャッターの町になってしまっ、庁舎だけが向こうへ行ってしまうたら、あそこはどうなるのかなと、ちょっと危惧したわけなので、そこらあたり、全然考えておられないですか。

【市長】

中心市街地の活性化、シャッター通りになっているということなどに対する、庁舎の位置の役割というのは大変重要な視点だというふうに考えておりますので、そういうことも考えながら総合的に判断したいというふうに思っております。

【事務局】

Bさん、よろしいでしょうか。

そのほか、いらっしゃいませんか。

【Cさん】

石田地区のCといいます。

先ほどの公共交通のことで言われましたけど、以前からJR黒部駅の橋上化をお願いしていますけど、ほんの二、三日前の新聞に、何かJRが在来線をそのまま引き続いてやると書いてありましたけど、そうなった場合に、橋上化に向けての交渉先もちょっと変わってきますが、そこら辺の対応というのはどういうふうを考えておられるのか。

【市長】

並行在来線の運営につきましては、これもまだ決まっておりません。以前もお話ししたんですが、この並行在来線の運営、経営につきましては、大変難しい問題もございますので、それが地元地域にとって、大きな負担がかかる可能性がございます。ですから、今の国土交通大臣は、地方がそれについていけないところも出るのではないかとということを考慮されて、そういうことも含めて今後検討していきたいというふうなことを言われたのではないかとこのように思っております。

JRが引き続きあるということではなくて、それらも含めて。北陸新幹線の整備をお願いしたときに、整備をすると同時に、残されたJR北陸本線の経営については地域でやってもらうということが条件だったわけですが、その当時の状況と今の状況はかなり変わってきていますので、並行在来線の経営につきましては、特に今長野まで長野新幹線が来ております。そこから金沢まで平成26年度末まで開業したとすれば、長野、新潟、富山、石川4県にまたがる今まで例のない、そして今までの最長の並行在来線になる、非常に短い区間の経営においても、今経営されているところは非常に苦労しておられます。それが4県にまたがって、4県が大変考え方が違う中で、その並行在を運営していくということは大変難しい問題だと思っております。

私も、何カ月か前の県との話し合いの中でも、少なくともこの金沢まで開業したと同時に並行在は地域でというのではなくて、もう少し延伸してから、例えば敦賀まで行ってからならこの北陸線をだれが経営するかというようなことについて、その時点まで時間の猶予をいただいたらどうかというようなことも知事に提言をしたこともあります。大変大きな難しいテーマでありますので、国のほうに、地方の我々にあまり負担のかからない並行在に是非していただくように、お願いを今後ともしていきたいと思っております。

同時に、今地元の石田地区の皆さん方から、新幹線の開業に合わせて、8号バイパスが整備されると思いますが、その供用開始に合わせて、8号バイパスからJRの黒部駅、今の黒部駅までのアクセス道路を整備し、そこに当然車がとめられるような駐車場があって、そこから今の駅に自由に入れるような施設を整備するという事は、私は必要だと。それが、橋上駅なのか、あるいは自由通路なのか、あるいは今の跨線橋の延長なのか、それらはこれからの議論だと。西側から自由には入れるようにしなければならないと私は思っていますが、本当に橋上駅にしなければならないのか、まずそれに対して予算がどれだけかかるのか、その予算はだれが負担するのか。今の県の新駅設置のガイドラインでは地元がつくるということになっています。地元というのは、黒部市がつくるという意味です。そのときに、さっき言った3つの方法がおそらくあると思っております。自由通路、今の跨線橋の延長、それぞれどれくらいかかるかというのは大体想定がされますが、それをどうするのかということについては、これから皆さん方等を含めて、これからの議論だということに思っております。

【事務局】

Cさん、よろしいでしょうか。

【Cさん】

よろしいです。ありがとうございます。

【事務局】

そのほかございませんか。

【Aさん】

もう一点言わせてもらおうと、コラーレにつくったら、中心市街地から離れて、なお、商売、店をやっている人は衰退すると言われたけど、役所がつくことと、商店街の活性化とは別物ですよ。これは、アメリカを見ればわかるけど、ワシントンというのは本当の政治都市で、ニューヨークといたら経済の専門都市、分けてあるにかね。政治は政治で、ワシントンは首都だけど、そういうことをコンパクトに全部固めたほうが効率がよいから。日本をみたいな、商売じゃ文化じゃ学校じゃ首都じゃって、まぜこぜな、そういうのもあるけど、そういうことは別に考えるべきだと私は思いますよ。

【市長】

ご発言が少ないようですから、ちょっと今の社会状況を整理してみたいと思います。

急激な少子高齢化、特に少子化が進むということがあります。これまで、今ほどAさんが言われたように、人口が増える、経済が成長する、そういう中で拡散社会をつくってきました、これまで。ただ、今の状況だったら、間違いなくこの人口減少が急激に進む中で、本当に拡散型の今までの考え方のこういうまちづくりが正しいのかどうかということについては、見直す時期にもう来たのではないかというふうに思います。

その人口減少につきましては、これまで100年ほどかけて人口が2倍以上に膨れ上がったんですが、これから100年かけておそらく半分ほどの人口になるとすれば、それは今のこうしたまちづくりのこの社会構造を考えなければならない。しかも、もう一つは、高齢化の中で、今現役世代が3人に1人高齢者の方を支えるような時期に来ておりますが、もう20年ほどしたら1.8人に1人を支える、この状況、この社会保障の体制をどうつくるかということが、大変大きな課題になってきております。それが、今国のほうも大変悩んでいる社会保障費が毎年1兆円ずつ増えていくと、これをどうするかというような、この問題が大変大きなテーマになってきつつあると。大きな考え方を転換しなければならない時期に入ってきたのではないかなというような気がいたしております。

【事務局】

Aさん、よろしいですか。

ほか、ございませんか。

【Bさん】

確かに、人口は目に見えて減ってくるのはわかるんですよ。うちの町内が去年まで130

人ぐらいでした。今130人をきりました。今1人住まいの方々が35人おられます。これがあと10年したら、35いる家がなくなっていくんです。とすれば、その間にまた次の人がまた。私どもの町内の平均年齢が65歳なんです。そう考えたら、あと20年したらうちの町内はなくなるなということも考えて、これからの都市計画を考えなきゃならない、そこにきておるんですよ。

私は、さっきAさんは反対したけど、向こうへ持っていくのもどうかと、できるだけ今のところまでまとめていったほうが、あちこち分散するよりもいいんじゃないかなという気がしております。

【事務局】

ありがとうございました。
そのほかございますか。

【市長】

遠慮なく、貴重な時間でありまして、石田地区の方だけではないようですけども、田家のほうの方もおられますので、意見をいただくために1つ発言させていただきますが、公共交通のことは、地鉄を育てる、守っていくということと、並行在の問題ももちろんありますが、もう一つは、地鉄に近くない地域においては、コミュニティーバスとか乗り合いタクシーみたいなものとか、こういうものも考えております。そのための、法定協議会を今年度内には立ち上げます。そして、来年度からの実証実験に入っていきたいというふうに思っております。一つは宇奈月地区の愛本地域で、1つ実験をしたいなと思っております。それから、生地、三日市のこの今の路線バスがあるところのルートを少し工夫して、福祉センターとかああいうところも寄るような、もちろん病院もそうですけども、そういうようなルートを工夫したもの、あるいはもう一つは前沢、田家地区で、なかなか公共交通がないとかそんなのに対して、今実証運行をしたいと考えておりますので、そういうことも、もしご意見があればご発言をお願いしたいと。

それから、病院のことにつきましても、この地域にとっては大変かわりの深いことでありますので、ご意見は今のうちに言っていただかないと、先ほど言いました28年度には完成させたい、工事は5年間ほどかかりますから、ということになれば24年度ぐらいから着工するような格好になりますから、具体的な計画はもう来年度ぐらいから始まりますので、ご意見はその前に言っていただいたほうが、尊重しやすいかなというふうに思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

【Aさん】

私、それについて、コミュニティーバスは魚津、上野方までは相当あちこち行くバスがありますよね。滑川は市営バスがあるでしょう。富山もあるでしょう。入善町、朝日町も少しあるでしょう。ないのは黒部市だけです。だから、魚津市のコミュニティーバス、町の大きさも違うからかも知らんけど、聞いた話では、私の親戚がバスの運転手をやっているけど、地鉄に運行をみんな委託している。委託料を払って、魚津市が。そして、1週間で黒部のほうで路線バスをやって、1週間コミュニティーバス乗って、新たに市が直接といたら、これ難しいよ。やっぱり、もしやるなら地鉄に委託費用を出して、任せたほ

うがいいのではないのでしょうか。運行というか、整備も含めて。バスなんか足りないなら、市のほうで買うとかして。

【市長】

コミュニティーバスなどの運行につきましては、今言われたように、確かに富山県の中の市で全く運行していないのは黒部市だけでありました。それは、例えば先ほど言いました、生地、前沢循環線とか、地鉄の駅が15カ所もあるとか、そういうある意味では公共交通がそれなりにほかの地域よりもあったということが1つの理由だと思います。

ただ、新幹線の開業に伴って、やはり交通のそういう不便な地域に対しては、しっかりとした対策を打たなければならないということに対して、今まで検討し、来年度から実証実験に入りたいというふうな段階です。後発でありますので、ほかの市などが今現在やってきた状況も確認してあります。やはり3,000万円、4,000万円ぐらいの補助金を出しながらやっているところが多いようです。ですから、できるだけ効率的で、あまり市の負担のかからない方法でやりたい。そのためには、地鉄にお願いするのがいいのか、いろんな先ほど言いました法定協議会などが法人格を取得されて何かの方法で運行されるというようなことがいいのか、それらについても今検討して、おりますので、そういうことも含めながら、できるだけ効率的で、また皆さん方が利用しやすいようなコミュニティーバスあるいは乗り合いタクシーなどを運行していきたいというふうに思っております。

できれば、うちの前まで来てくれるという方法はないのかとって、今考えておりますが、特に、田家地区の方もおられるようでありますので、田家方面なんかは、離れたところが随分ありますので、バス停がここやと降ろされて、そこから1キロも2キロもお年寄りが歩くなんていうことはなかなか難しいと思っておりますので、そういう場合はどうするのかというようなこと、それはできると思っております。ですから、会員制の予約制みたいなような方法を考えてやっていきたいなど。できるだけ家の前まで行ってあげられるような、そういうような方法を今検討しておりますので、地区によっては、大変不自由な地区もあると思っておりますので、その点またご意見があればお願いをしたいと思います。

【事務局】

そのほかございませんか。時間のほうは十分あります。

【Aさん】

じゃ、もう一件。今の点について。

黒部のコミュニティーバス、市内循環東回りも西回りも何遍も乗ったけど、あまり商店街にとまらない。だから、商店街に車をとめて買い物できない、駐車違反になるから。だから、もしするなら、生地とか三日市の商店街にバス停をつくって、そうすれば、商店街の店の人も売り上げが上がって商店街も活性化するのでないかなと。商店街に幾つかバスの停留所をつくってもらいたいと思います。商店街活性化のためにも。

【市長】

ありがとうございました。

【事務局】

そのほかございませんか。

【Dさん】

浜石田のDと申します。

市民病院の駐車場の件でちょっと気づいたんですが、今計画されておりますから十分取り入れられると思いますけど、私ら、年寄りでしょっちゅう市民病院へ行きますので、今の駐車場、私らが行くところに対して、市の職員の方がとめておられる駐車場は何か随分あいているというか、不経済な形になっているんじゃないかなという感じがしますが、いかがなものでしょうか。

【市長】

まず、黒部市民病院の駐車場に関して、大変ご迷惑なりご理解をいただいておりますことに対して、感謝を申し上げたいと思います。

今ほど言われた市民病院の職員の駐車場と、患者さんなりお見舞いの方の駐車場との件であります。市民病院は三交代で働いていただいております。今現在職員が600人以上おります。もちろん交代で働いております。その職員に対する駐車場というのは、必要な台数確保してありますが、朝まで勤務していた職員が何時かに自宅に戻ったときに、そこらの駐車場については、あいているように見えることもあるかもしれませんが、今現在のところ、余裕のある駐車スペースというのは全くとれておりません。

さらに今回の改築につきましては、5年間にわたって、しかも病院の診察を受けられる患者さんあるいは見舞いに来ておられるような家族の方などに対する駐車場に対して、これから、特に工事期間中はさらにもっとご不便をおかけすることになるのではないかと。なぜなら、今特に改築を考えております中で、例えば今外来棟、今の正面玄関ですね、あの建物をまず建てかえると。新しいものを、南側といいますか裏側の駐車場にまず建てる。それで、完成したら今の外来棟を壊す。そして、そこに次のものを建てる、そして次、そういうふうには何かこまを動かすようにしてやらなければならない。そのことによって、駐車場については、もちろん必要な台数は最終的には確保するんですが、工事期間中はまた5年間ほどご不便をおかけするのではないかと、特にここには地元の関係者の方もおられるようですから、特に地域の皆さん方にはご理解をいただくことが大変大事というふうに思っておりますので、駐車場については本当に特に心配をしているわけですが、ぜひご理解ください。最終的には必要な台数を確保いたします。

【事務局】

Dさん、よろしいでしょうか。

【Dさん】

東側にとめておられますでしょう。あれを3階とか5階とかというようにやって上へ上げれば、あんなにたくさんのスペースが要らないんじゃないかという気がしておりますので、ぜひ何とか。

【市長】

最終的には、625人ほど職員がいます。それが、今後さらに増やさなければならない状況でございます。1つは、患者さん10人に対して看護師さん1人というのが10対1とおったんですが、これを国のほうの制度で7対1、7人の患者さんに対して1人の看護師と、そのほうが手厚く看護ができるということで、そういうことを進められておるんですが、そのためには看護師を増やさなければならないと思っております。ただ、大変看護師不足の中で、厳しいんですが、県内のほかの公立病院はほとんど7、1体制に、もうなったところもありますし、進んでおります。ただ、黒部がすぐできるかといったら、できません。その違いは何かというと、ベッドの稼働率です。看護師を増やせないから、ほかの病院がどうしているかということ、ベッド数を減らします。例えば300あったものを200にして、そのままの看護師さんの数であれば、7、1になるんですね、簡単に。3割減らせばいいんですから。それで、黒部市民の場合は9割以上の稼働率ですから、ベッド数を減らすとさらに患者さんに迷惑をかけるということになりますので、大変高い93%、94%というような稼働率で今動いていますので、それをすると患者さんに迷惑をかける。なら、ベッド数を減らさないとすればどうするかといったら、単純な話、看護師さんを3割増やすということなんですが、今の看護師の人数を確保するだけでも今精いっぱい状況でございますので、それもなかなか難しい。でも、将来的にはそういう体制に持っていかねばならないのかなというふうなことも考えております。そういう意味では、職員数は増えるということからすれば、駐車場が足りなくなっ、今ほどDさんが言われるように、周りの土地も限界がありますので、それなら立体駐車場を考えようというようなこともやがての選択肢にはあるのかなというふうには思っております。

【事務局】

よろしいですか。

ほかにございませんか。

【Eさん】

堀切のEです。

閑散としておるタウンミーティングなものですから、もう少し地域みんなが集まれるような、そういったタウンミーティングに持っていきたいということですから、足の手段とか、高齢者はそう思いますね、夜も暗いですし、もう少し地域の住民がこのタウンミーティングにたくさん見えられるように工夫してもらいたい。別に市長の話がおもしろくなくてと聞いておるわけじゃないんですよ。十分おもしろいんですけども、それだけ大切な話は30人ぐらいで聞くんじゃないし、もっと多くの人が集えるような、日とか時間帯とか、足を考えてもらいたいと思うんですが、いかがでしょうか。

【市長】

前回の10月の新庁舎建設についてのタウンミーティングのときは、初日が220人ほど、2回目が90人ほどで、それなりに関心が高いなというふうに感じました。ただ、今回はあまり皆さん方の関心のあるテーマでなかったのか、またいろんな日程の都合が悪かったのかわかりませんが、集まりが悪い。そのことについては、私ども、たくさんの方に集まっ

ていただいて、活発に意見が出るやっぱりそういったタウンミーティングを望んでいますので、時間は夜がいいんだろうと思いますが、開催の曜日とか、あるいは足、高齢者の方などに対するそういう送迎などについて、今度から考えて対応させていただきたいと思います。とにかく、たくさん集まるタウンミーティングを期待しておりますので、いいご意見だと思しますので、参考にさせていただきたいと思います。

【事務局】

Eさん、よろしいですか。
ほかにございませんか。

【市長】

何なりとちょっとぐらい外れてもいいですから、せっかくの時間ですし、もったいないですから、ご意見があればご発言をお願いしたいと思いますが。

【Fさん】

浜石田のFです。

時間がありますから、ちょっとお聞きしますが、新幹線の開業時期ということで、これはもう市長の今の現状を見て答えていただければいいのですが、最近、新潟県知事さんが、非常に負担問題で意見を言っておられますが、このことによって開業時期が遅れるとか遅れないとか、今石井知事が非常に苦労されておられるようですが、今の時点で市長自身の感想をちょっと聞かせていただければいいんじゃないかなと思っております。

【市長】

私は、金沢までの開業については予定通り、いろんな状況はありますが、開業されるものと持っております。そこからの以西の延伸については全く不透明です。わかりません。どうなるかわかりませんが、まずは平成26年度末までに開業、そこから先について私らは何としてでも大阪までのこの延伸についてこれは強く訴えていかなければならない、これは北周り新幹線として東海道新幹線などが災害などでとまった場合、動かなくなった場合の北周り新幹線としての、国としての大変大きな役割を担う新幹線だというふうに思っておりますし、そのような意味でつくられてきたわけですから、これが途中でとまるようなことがあっては、私は絶対にならないと思っております。

さらに、開業については、特に長野黒部間試運転などについては平成25年の秋ぐらい、冬から長野黒部間の試運転が始まります。ですから、新幹線が走ってくるのを黒部の市民の皆さん方が目に見えるのはもうすぐ、もう4年間ほどで目に見える格好になるものと思っております。新潟県の知事さんがいろんなことを言っておられますが、そのことでおくれるということはあまり考えられないかなと思います。知事も大変苦労しております。

【事務局】

Fさん、よろしいでしょうか。
ほかにございませんか。

【市長】

もう一点、同時に、新幹線開業までに何としてでも8号バイパスは、魚津黒部間、残されているこの7.3キロがどうなるかということについて大変心配しております。ただ、今のほうの情報では、いろいろ公共事業の見直し、特に国土交通省が予算ベースで、事業費ベースで2割カットが言われておりますが、道路は2割、河川が1割、海岸が1割とかと言われておりますが、そういう中で、魚津黒部間、これは今年度当初どおり以上に今のほうが要求していますので、ここは何とか進むのではないかと。今年度当初というのは、この区間に41億円ついてます。それ以上の予算要求を本庁が今概算要求の中でこの区間は入れております。ですから、これは何とか北陸新幹線開業までに、魚津黒部間は何とかいけるのではないかと考えています。ただ、8号バイパスから新幹線駅までの背骨新駅中新線とっているこの背骨道路については、これは現8号線からバイパスまでは市道で整備していますが、コラーレ前の道路、このことについてはまだわかりません、どうなるのか。これは、もしかしたら、予定通りどうなるのかということについて、これは国の補助55%もらう道路整備を計画し今進めてきましたが、55%をもらって残り45%のうちさらに県から15%の支援をもらって、残り30%を、市が負担をし、新幹線開業までに何とかと思ってやってきたんですが、これが今のところ不透明です。政府としてどうなるのか。今わかりません。だからこのところは大変心配をしております。

テレビで見ておる事業仕分けがすごいものですから、あのとおりになるとは思えませんが、1つはああいうものも参考にしながら決まっていくなだろうと思っております。

【事務局】

ほかにございませんか。

【Aさん】

ここにきて大変申しわけないけど、現庁舎のことぶち壊しになるけど、前市長の荻野市長のとき宇奈月はもちろん、入善町、朝日町と合併の話があったでしょう。それがけんか別れになって壊れたでしょう。もうこれ、決着ついてやらんことに決まったんですか。また、よりを戻して入善町や朝日町と一緒にならんかとか何か、交渉でもしておらですか。前荻野市長が一生懸命まとめんなんで、そういう話で頑張っておられたけども、今はどうなんですか。

【市長】

新たな合併については、今のところは全く話がございません。

【事務局】

そのほかございませんか。

【市長】

よろしいですか。

3つのテーマでありましたので、まず、病院の改修については、先ほど来から5年ほどかけてやりたいということできております。この計画通り進められるのではないかなと思

っております。平成28年度までに5年間ほどかけて、実は予算的には100億規模の改築になると思っています。もちろんその中には、医療機器も一部入っておりますが、それでも大変大きな工事になると思います。そういう中で、地元の石田地区あるいはもちろん三日市の方々にも建築に向けているんなご理解ご協力をいただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

先ほどちょっと触れましたが、病院で一番悩んでいるのは、もちろん医師不足、医師の確保ももちろんであります。とにか今340人ほどの看護師さんおられますが、何とか増やしたいと思って、一次募集、二次募集、もうだめなら随時募集までしてお願いしているんですが、なかなか思った人数が確保できません。ぜひ皆さん方の中からも、看護師さんになられたら就職率はいいですよ。ぜひ関係の方に看護師になるように進めていただいて、やがては黒部市民病院で働いていただきたいなと思っております。

【Bさん】

ちょっといいですか。

今、市民病院のことで、実は私目が悪い。眼科の込みようがすごいんですよ。普通お昼になったら内科はほぼおられなくなる、1時ぐらいまでは。私、眼科やったら、どうかしたら3時になることがあるんですよ。それでまだおばあちゃんたちがいっぱいあって、ぶつぶつ文句を言われておる、遅いと言って。予約制とって予約制じゃないと怒られたから、逆にだめて、先生が上手やから沢山来ると。下手な医者のところにはだれも行かんで、上手だから来ると言ったけども、ちょっとあれは異常ですね。眼科医、ひとつ増やしてよ、1人。大変だわ、あれ。お昼も食べると2時3時ぐらいで、それからまた手術やと言ってらっしゃったからね、あんたどこでご飯食べておるかなんていうくらいなので、ちょっとあこら辺、負担がかかり過ぎのこと、そうでないことはないと思いますけども、あこはちょっと異常かなと思っております。

お願いです。

【市長】

眼科の先生は1人ですから、特にやっぱり高齢化が進む中で、眼科にかかられる方も増えていきますので、かなり負担をかけていると思います。増やすことも、これもなかなか難しいので、それでも、昨年度末に黒部市民病院でお医者さん74人、研修医を含めて74人おられました。今年度に入ってから80人、病院事務局もとにかく医師の確保についてかなり努力をしてお願いをしております。それでも、頑張っても、減らされるところは減らされていますし、婦人科も、一時6人おられたんですけど、一昨年ぐらい6人だったかな。今年は4人。それで、お産される方が去年600人ほどおられて、今年は700人くらいになるんかなと、大変だなと思うけど、今新川地域で今赤ちゃんを産めるところはここと入善町の民間のお医者さんと2カ所だけです。何とかその責任を果たしたいというふうに思っておりますので、医師をお願いしている事務局も、私も大学医局へお願いに行くときも何度かありましたけども、かなり黒部市民病院はまだ優先的に協力をさせていただいておるものと思いますが、それでもなかなか十分ではない。さらに看護師さんは大変なので。最近黒部市民病院は大変だと評判が立って。そうじゃなくて、やりがいを持って働ける場所でありますので、働いておられる方は本当に。時々説明の言葉が乱暴やったというんなことも

言われて、お願いなり、指導もしているんですが、やっぱりあれだけ来られると、ちょっと言葉を間違えられるときはあると思います。そういうことは認めちゃならないですが、特に救急なんかやったら大変なことになります。そういう点、ご理解をいただきたいと思えます。

また、さっきのベッドの稼働率、あれも皆さん方も感じておられるように、決められた日になったらにこっと笑って今日退院してくださいとやさしく言われれば、もう1日か2日おりたいなと思っても、それは次に入る人がもう決まっていますので、その辺の稼働率がいいということが病院経営に功を奏していますので、ですから県内で唯一黒字病院というようなことにつながって行って、そのへんの力が今の大改築を生んでいるということです。今この時期に大改築をやるということはなかなか厳しいですが、今の市民病院の力だったらやれるだろうと思っていますので、ぜひご理解をいただきたいというふうに思えます。眼科も泌尿器科も大変なんです。泌尿器科もやっぱり高齢化が進むと増えるもので。

【事務局】

ほかにございませんか。

【Gさん】

立野のGです。

ちょっと単純な意見なんですけども、例えば市の庁舎の建設で、三日市小学校に建てる場合と、例えばコラーレ周辺に建てる場合と、かなり建設のお金の関係、相当違うと思うんですけども、いかほどというよりも、それで、今市民病院も100億、どこそこの図書館も消防署も相当私らにわからないお金がたくさんつぎ込まれると思うんですけど、市の財政状況は大丈夫なんでしょうか。教えてください。

【市長】

まず、庁舎につきましては、先ほど言いましたように245人の職員が働いておる庁舎の基準として、総務省が決めた面積というものの基準があります。それを言いますと、例えば庁舎1人25.1平米というように決まっていますが、さらに当然市民の皆さん方が集まっているんな会議をしたりするような場所とか、そういうような複合的な施設も考えたら、まず規模をどれだけにするか。建設検討委員会では、明日あるんですが、簡単に言うと、庁舎の規模は今現在、分庁舎ですが、黒部庁舎が4,000平米ほどあります。宇奈月庁舎がやはり4,000平米、合わせて8,000平米ほどあります。それで、新しい庁舎をどれだけの大きさにするかということなんです。建設検討委員会では3つの案、合わせたほどの大きさの8,000平米、それから9,000平米、1万平米ぐらいが必要ではないかというふうに検討されました。それぐらいの面積が必要ではないかというふうに検討がなされました。それぐらいあれば、私もいいのではないかと思います。8,000、9,000、1万平米、それは建物の延べ床面積です。何階建てにするかはまだこの後の検討なんです。1階建てになるか、2階か、3階か、4階か、そういうものの延べ床面積がそれぐらいですよ。だとすれば、建てる費用、いろんな費用がありますね。設計費用とか、最終的には現庁舎の解体費用とか、いろんなものを考えなきゃいかんんですが、ざっくり言うと、8,000平米で35億円ほど、

それから9,000平米で37億幾ら、それから1万平米で40億円ほどかかります。建物を建てるための費用ですね。

それに対して、実は、その庁舎を建設するために貯金を残していただいております。ずっと先輩の人たちがやがて庁舎がいるということで、15億2,000万円ほど残してもらっています。それプラス今回は庁舎を建てるチャンスだというのは、庁舎は自前でしか建たんですが、今使えるものとすれば、合併特例債は使えます。それが幾らでも入れられるわけじゃなくて、さっき言った総務省の基準どおりに入れたとすれば、11億円余り合併特例債が入ります。この合併特例債は後から、やがて約7割が交付税措置、国のほうから返してもらえるお金という考え方です。11億円余りと15億余りですから、26億円余り、これが特定財源として今考えられます。そこで、さっき言った庁舎を建てるのに35億円から40億円ほどかかるという話の中で、26億円が特定財源ですから、残り35億円の場合は9億円、40億円の場合は14億円、これが一般財源、手出しです。それを、庁舎を建てる場合は、1年ではできませんので、約3年間で建設するとすれば、それを単純に3年で割れば、9億円の場合は1年間に3億円ずつ、14億円の場合には端数はありますが約1年間に4.5億円ずつ、3年間かければ市庁舎ができるという計算であります。これぐらいの予算なら、今の黒部市の力でもできるかなというふうに考えて、今が庁舎を建てるチャンスかなと。そのためには合併特例債が使える期間までに建てたいと、それが平成27年です。このときに建てないと、この場所はなかなか庁舎を建てることはできないというふうな。

そこで、今、どれぐらいかかりますかという話の中で、それは、設計とか建物を建てるお金だけです。土地代は入りません。そこで、今、旧三日市小学校の跡地周辺の場合と例えばコラーレ周辺の場合は、コラーレ周辺の場合はほとんどすべて新しく用地を取得しなければならないと思います。三日市小学校跡地の場合は、1万平米余り市の土地があります。さらに、周りを少し整備すれば、最終的には1万二、三千平米はあの周りで確保できる、市の所有地として、そういうふうな状況です。

そこで、その土地代は、コラーレ周辺と三日市小学校の跡地との差は土地代が大体の金額の違いということになります。なら、土地代はどれだけするのかということですが、新駅中新線を整備したときには、田んぼで坪10万円でした。今は若干下がっておりますけれども、それに近いものかなというふうに思っております。それぐらい、コラーレの周辺と三日市小学校の跡地との違いはそういう違いが出てくると。コラーレを建てたときは、土地を取得したときは14億8,000万円土地代でかかったということですが、違いだらうと思います。

それともう一つ大事なことは、財政。財政につきましては、今現在かかっているのは、石田地区にはお世話になっていました学校給食センター、今前沢で着工しています。約7億ほどかけて今始まります。今日は実は中央小学校で、ランチルームと体育館の安全祈願祭をしました。約6億円ほどかかります。あるいは、あと消防庁舎をやりたいというふうに思っております。あれもこれもと言っているようなことを言っていますが、私は総合進行計画期間10年間で、その投資的事業に年30億円ずつかけることは可能だというふうに今現在も考えております。それ掛ける10年、300億円。この中で、我々黒部市は何を優先してどういうまちをつくっていくかということを考えなければならない。30億円ずつの投資的事業であれば、今現在、公債費、要は借金を返しているお金が、黒部市は約26億円ほど公債費というので、今年返しております。去年もそれぐらいだったと思います。約25

億円ずつ公債費として返しておる、これは元金ともです。返しています。それに対して、年間30億円事業をするためには、借入金を15億円以上しないという計算でやっています。15億円借り入れて25億円毎年返せば、借金は増えることはありません。若干ですけど、改善されて減ってきます。そういうふうに、当然財政を少しずつ改善しながら、今やらなければならないまちづくりとして必要なものは私は前向きにやるべきことが大事だというふうに思います。それが、この黒部市の将来にとって必要なことだし、また、今の景気を改善させるための市としての責任だろうというふうに思っておりますので、そういう意味では、少しずつ借金を返しながら、そしてまた、今日の新聞に出ておる実質公債費比率というものが、今年22.9%で決していいほうではございませんが、来年さらに悪くなります。22年度がピークを迎えます。今までのものがわかっていますから。21年度決算、今年度決算が実質公債費比率が、22.9がさらに零点二、三ポイント悪くなると、23を超えるのではないかと考えています。ただその後、少し数年横ばいですが、徐々に改善されていって、平成29年度総合振興計画の最終年度には18%ぐらいまで改善する。18%以下になるというのは目標であります。平成29年度頃には18%を切れるのではないかと。なおかつ、先ほどから言うようないろんな投資的事業をしっかりと行うことができるというふうに思っていますので、そういう意味では、財政はしっかりと改善して、見ていかなければならないんですが、やることもしっかりとやるということが大事ではあると。

最近、無駄という言葉で、とにかくコストカットで何でも切ればいいという、あれ、切った結果財政がよくなるかというところじゃないんだよね。95兆円まで膨れ上がると、そこには何があるかと、マニフェストに書いた子供手当と高速道路の無料化と何がありましたっけ、高校の授業料無料化とか、そういうものを足すものだからほかのものを切らなければならなくなるので、その結果さらに予算は増えるものの、国債の発行も増えるのではないかと心配をしています。

黒部市はそういうことを考えていないので、財政は少しずつ改善しながらやれることを何とか工夫してやっていきたいと思いますということを考えていますので、その点はしっかり見ていきたいというふうに思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

【事務局】

最初にお話しした予定終了時間が過ぎております。あと1人のご発言とさせていただきますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

どなたかいらっしゃいますか。

ないようですので、以上でご意見のほうを閉じさせていただきますと思います。

それでは、閉会に当たりまして、堀内市長から本日お集まりいただきました皆様への礼も含めましてごあいさつを申し上げます。

【市長】

本日は大変お疲れのところ、熱心にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

先ほどEさんからもありましたように、もう少し集まりやすい方法を考えて、たくさんの方に参加してもらうような努力も今後はしていきたいというふうに思っております。

先ほど来、たくさんの方のお話をさせていただいておりますが、やっぱり大事なことは、住民の皆さん方に、ご理解をいただくというふうなことが大変大事だと思います。そ

のためには、こういう場を通じていろんなお話をさせていただいて、情報をきちっとお互いに共有しながら、新しい黒部市のまちづくりに向けて、私は力強く進んでいくことが大変大事だというふうに思っております。ただ、市役所、市長もちろんであります、市長や市役所職員がここをこうやるよということだけでは当然動いていきませんので、とにかく皆さん方のご理解をいただくことを優先しながら、これからのまちづくりを進めていきたいと思っております。

今日は公共交通、地域医療あるいは新庁舎の建設ということで、3つのテーマにさせていただきましたが、これからの、今自分たちが考えているまちづくりの中で、皆さん方の関心の高いだろうと思われるようなものをテーマにしながら、できるだけ多くの皆さん方にご参加をいただいて、ご意見を賜るようなタウンミーティングを心がけていきたいと思っております。

また、石田地区などの皆さん方には、個人的にもちょっと市政報告をせよというようなことで時々やらせていただいて、そういう意味では大変ご理解をいただいている地区ではないかなというふうに思っておるわけですが、これからの計画をしっかりと立てながらいろんな取組を進めてまいりたいと思っておりますので、皆さん方からの忌憚のないご意見をいただくことをお願い申し上げて、閉会のごあいさつにかえさせていただきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございました。

【事務局】

本日はどうもありがとうございました。会場にお忘れ物のないように、また、お気をつけてお帰りいただきますようよろしくお願いいたします。

それと、先ほどお配りいたしましたアンケート用紙ですが、会場出口の回収箱へお入れいただきますようよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

了